

院内トリアージ実施基準

1. 目的

来院された患者の重症度、緊急度を判定し、優先順位をつけて、生命の危機的な状態にある患者を早期に発見し適切な対応を行うことを目的とする。

2. 院内トリアージの流れ

トリアージは、患者来院後ただちに（10分以内が望ましい）救急外来にてトリアージ担当者が行う。

- 1) 主訴の確認
- 2) トリアージレベルの判断
- 3) 問診

3. 判断基準（JTASの準拠）

JTASの緊急度判定は、青、赤、黄、緑、白の5段階に分類されている。

青は最も緊急度が高く、直ちに診察および治療が必要と判断される。

赤は緊急で、10分以内に診察が必要なレベルであり、15分毎に再評価を行う。

黄は準緊急で、30分以内に診察が必要なレベルであり、30分毎に再評価を行う。

緑は低緊急で、1時間以内に診察が必要なレベルであり、1時間毎に再評価を行う。

白は非緊急で、2時間以内に診察、2時間毎に再評価を行う。

蘇生（青）	直ちに診察・治療が必要	心停止、重症外傷 痙攣持続、高度な意識障害 重篤な呼吸障害 など	治療の継続
緊急（赤）	10分以内に診察が必要	心原性胸痛 激しい頭痛、腹痛 中等度の意識障害 抑うつ、自傷行為 など	15分毎の再評価
準緊急（黄）	30分以内に診察が必要	症状のない高血圧 痙攣後の状態（意識は回復） 変形のある四肢外傷 中等度の頭痛、腹痛 活動期分娩 など	30分毎の再評価
低緊急（緑）	1時間以内に治療が必要	尿路感染症 縫合を必要とする創傷（止血済） 不穏状態 など	1時間毎の再評価
非緊急（白）	2時間以内に診察	軽度のアレルギー反応 縫合を要さない外傷、処方、 検査希望 など	2時間毎の再評価